

令和 7 年度 1 2 月定例記者会見 次第

日時：12 月 25 日（木）13 時 30 分

会場：糸島市役所 庁議室

【出席者】

〔伊都国記者会〕朝日新聞社、糸島新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、
読売新聞社、NHK 福岡放送局、時事通信社
〔糸島市〕市長、副市長、教育長、関係課（下記参照）

1 市長あいさつ

2 案件

①年末年始の救急医療体制について

【市長発表】

健康づくり課

②認知症本人大使「希望大使」丹野智文さんによる
講座開催について

介護・高齢者支援課

3 懇談・その他

■次回定例記者会見の開催日時（予定）

日時：1 月 20 日（火）14 時 30 分～

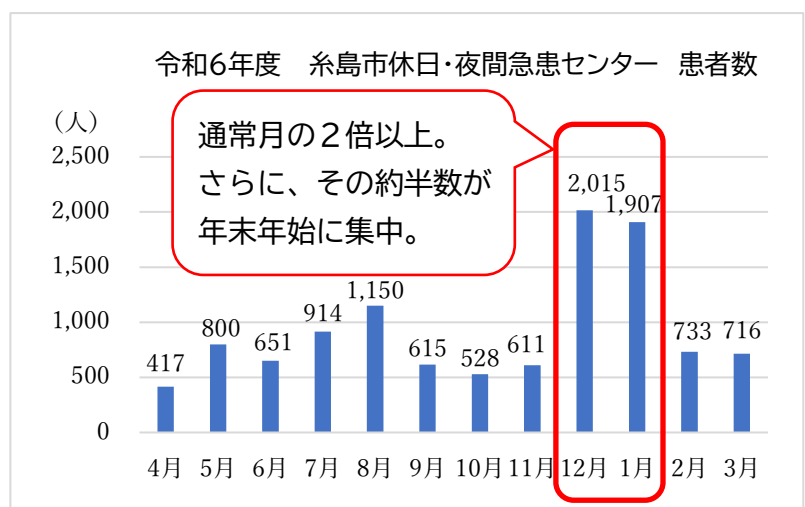
場所：糸島市役所 庁議室

年末年始の救急医療提供体制 ～混雑緩和への協力と救急医療利用に理解を～

年末年始は、多くの医療機関が休診となるため、「糸島市休日・夜間急患センター」には毎年、非常に多くの患者さんが来院されます。昨年度は、12月・1月の2か月間で約4,000人が受診し、そのうち約2,000人が年末年始期間に集中。その結果、現場は大変混雑し、体調が悪い中で**最大8時間以上お待ちいただくケースも発生しました。**

休日・夜間急患センターは、夜間や休日に「緊急性の高い症状」に対応する応急的な医療機関です。限られた医師・看護師体制で運営しているため、混雑が続くと、本当に緊急性の高い患者さんの診療に支障が生じる恐れがあります。

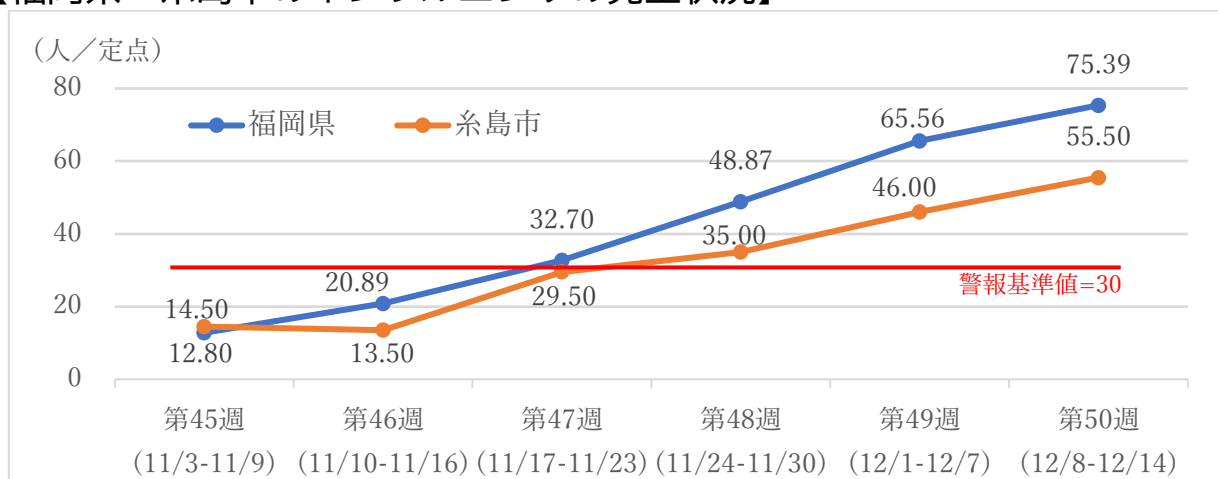
年末年始を健やかに過ごすため、体調管理には十分留意してください。また、常用薬に不足が生じないように、かかりつけ医の診療時間内の受診をお願いします。



【インフルエンザ等の受診について】

インフルエンザ検査は、発熱から12時間以上経過後に検査を行うと、陽性精度が高いとされています。そのため、水分が摂れない、呼吸が苦しい、意識がもうろうとしているなどの強い症状がない場合は、発熱から12時間以上経過してからの受診をご検討ください。

【福岡県・糸島市のインフルエンザの発生状況】



【混雑を防ぐために】

①日頃からの体調管理と、市販薬の備えを

体調管理と事前の準備を心がけ、ご家庭では、発熱や胃腸炎など冬に多い症状に備え、解熱剤や胃腸薬などの市販薬を事前に準備しておくで安心です。

②受診時は「マイナ保険証」の提示を

マイナ保険証を利用すると、受付手続きがスムーズになり、待ち時間の短縮につながります。

③迷ったら、救急医療電話相談を活用

「受診すべきか迷う」「救急車を呼ぶほどか判断できない」そんな時は、県の救急医療電話相談をご利用ください。看護師などの専門職が、症状に応じて助言します。

【電話相談窓口】

◆県救急医療電話相談

電話番号：#7119 または 092-471-0099

日時：24 時間受付・年中無休

◆小児救急医療電話相談

電話番号：#8000 または 092-731-4119

日時：平日：19 時から翌朝 7 時、土曜日：12 時から翌朝 7 時、日曜・祝日：7 時から翌朝 7 時

④年末年始の救急医療体制を事前確認

受診先や診療時間を事前に確認しておくことが重要です。

また、糸島市休日・夜間急患センターの診察前の確認事項を把握しておく、診療待ち状況をウェブで確認できるよう準備しておくなど、事前の情報収集が、緊急の時には役立ちます。

糸島市休日・夜間急患センターの
診察前の確認事項など



上記診療日時以外の
休日・夜間の診療



糸島医師会所属（糸島市）医療機関
連休診療状況



休日夜間急患センターの診療待ち状況



【サンプル画面】
件数が表示されます

【問い合わせ先】

糸島市 健康福祉部健康づくり課
健康企画係 担当：小澤
電話番号：332-2069

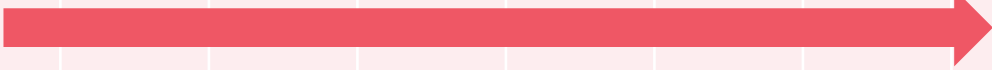





年末年始の救急医療体制

年末年始は多くの医療機関が休診となるため、受診できる医療機関が限られています。

急な体調悪化に備え、市販薬(風邪薬、解熱剤や咳止め)を準備しておくことをおすすめします。また、身近なかかりつけ医などの診療日や休診日を確認しておきましょう。

※インフルエンザ検査は、発熱から12時間以降に陽性精度が高まるとされています。そのため、強い症状(水分が摂れない・呼吸が苦しい・意識がもうろうとしている等)でなければ、**発熱から12時間以上経過してからの受診をご検討ください。**

糸島市休日・夜間急患センター(内科・小児科・外科)診療日

	12/29 (月)	12/30 (火)	12/31 (水)	1/1 (木)	1/2 (金)	1/3 (土)	1/4 (日)	1/5 (月)
内科 小児科	12/29 19:00~							1/5 ~6:00 (受付5:30まで)
外科								
各日9:00~18:00(受付17:30まで)								

住所:糸島市浦志532-1(糸島医師会病院東側) 電話:092-329-1190

糸島口腔保健センター歯科休日急患診療所(歯科)診療日

	12/29 (月)	12/30 (火)	12/31 (水)	1/1 (木)	1/2 (金)	1/3 (土)	1/4 (日)	1/5 (月)
歯科								
各日9:00~12:00								

住所:糸島市前原東二丁目7-52 電話:092-324-4317

市民向け 認知症講座

認知症本人大使「希望大使」丹野智文さんによる講座を開催

～認知症になった私が、^{わけ}今を楽しく生きる理由～

－誰もが安心して認知症になれるまちづくりを考える－

【講座開催の目的】

厚生労働省が公表した「認知症及び軽度認知障害（MCI）の高齢者数と有病率の将来推計」によると、令和7年度における認知症の有病率は約12.9%、認知症の前段階とされる軽度認知障害（MCI）の有病率は約15.4%と見込まれています。両者を合わせると28.3%となり、高齢者の約3.5人に1人が認知症またはその予備軍と推計されています。

これを本市に当てはめると、令和7年10月1日現在の高齢者人口31,716人のうち、約9,000人が認知症またはその予備軍に該当すると見込まれます。

こうした状況の中、令和6年1月には「認知症基本法」が施行され、認知症になっても希望をもって暮らし続けられる“新しい認知症観”が示されました。認知症になったら何もできなくなるのではなく、本人ができること・やりたいことを尊重し、地域で自分らしく生きる共生社会の実現が求められています。

今回、若年性認知症と診断されながらも全国で自身の経験を語り、認知症への理解促進に尽力されている丹野智文氏をお招きします。丹野氏が実際に経験されている「認知症と共に生きる日々」を通して、私たちが認知症とどう向き合い、どのように支え合っていくべきかを共に考える機会としたいと考えています。

【講座】

日 時：令和8年1月16日（金）

14:00～15:00（受付開始 13:30～）

会 場：ふれあい1階 健診・研修室

テーマ：「新しい認知症観を広める」・「本人の声を聞こう」

内 容：認知症本人大使「希望大使」である丹野智文氏をお招きし、身近な地域で触れた当事者の声をもとに、トークディスカッション形式で進行します。

丹野氏のお話を通じて、新しい認知症観への理解を深めます

講 師：丹野 智文氏（認知症本人大使「希望大使」）

県若年性認知症サポートセンター

（寄り添う市町村伴走支援における委託先）

対象者：市内在住・市内に勤務している人（定員 80 人）

参加費：無料

申込方法：右記コードまたは下記の電話からお申込み。

介護・高齢者支援課 092-332-2070



講師 ^{たんの} ^{ともみ} 丹野 智文さん

認知症本人大使「希望大使」

39歳の時に若年性アルツハイマー型認知症と診断される。現在も仕事を続けながら、認知症当事者の相談窓口「おれんじドア」代表として、認知症の方の笑顔を増やすために全国で講演されています。

※午前中は専門職向けに講座を実施（10時～11時30分）

古い認知症観	新しい認知症観
①他人ごと、なりたくない、目をそらす、先送り ②認知症だと何もわからない、できなくなる ③本人は話せない/声を聞かない ④おかしい言動で周りが困る ⑤危険重視、過剰制限しても仕方ない ⑥周囲が決める ⑦本人は支援される一方、負担の存在 ⑧地域で暮らすのは無理 ⑨認知症は恥ずかしい、隠す ⑩暗い、萎縮、あきらめ、絶望的	①わがごと、お互いさま、向き合う、備える ②わかること、できることが豊富にある ③本人は声を出せる/声を聞く ④本人が一番困っている。本人なりの意味がある ⑤あたりまえのこと（人権）重視 自由と安全のバランス ⑥本人が決める（決められるように支援） ⑦本人は支え手でもある。 経験者として大切な存在 ⑧地域の一員としてともに暮らす ＊施設入所後も ⑨認知症でも自分は自分、自然体でオープンに ⑩楽しい、のびのび、あきらめず、希望がある

出典：認知症地域支援推進員活動ガイド

【本市の主な認知症等に対する取組】

●認知症サポーター養成講座(学ぶ)/キッズサポーター養成講座(学ぶ)

養成講座を受講すると、認知症サポーターとして認定されます。

認知症サポーター養成数：平成 22 年からの累計人数 13,358 人（R7 年 11 月末現在）

●認知症キャラバン・メイト(携わる)

地域で認知症のことを普及支援する人です。

糸島市キャラバン・メイト 84 人（R7 年 12 月 1 日現在）が活躍中です。



●本人ミーティングよかよかつ(共に)

令和 7 年 4 月から月に 2 回、はつらつ館で本人ミーティングを開催しており、利用者数は各回 4～5 人です。

●認知症カフェ(共に)

認知症の方や、そのご家族、地域住民が気軽に集まり交流や相談ができる場です。

市内 11 箇所で開催

●認知症簡易スクリーニング(支援)

認知機能セルフチェッカーの無料貸出（文化祭等）、認知症簡易チェック（HP）

●認知症初期集中支援事業(支援)

認知症を早期に発見し、容態に応じて適切に対応できるよう支援するチームです。

月 1 回支援会議を実施。医師、精神保健福祉士、地域包括支援センター保健師等 12 人で構成

●市役所：認知症地域支援推進員 2 名配置(支援)

地域包括支援センター5圏域：認知症地域支援推進員各 1 名配置(支援)

※生活支援コーディネーターと兼務しています。

●権利擁護の支援(支援)

成年後見センターの設置等



【問い合わせ先】

健康福祉部 介護・高齢者支援課 高齢者支援係
担当：長谷川・大庭

電話：092-332-2070（課直通）

E-mail：kaigokorei@city.itoshima.lg.jp

市民向け認知症講座

誰もが安心して認知症になれるまちづくりを考える

認知症になった私が、 今を楽しく生きる理由 わけ



たんの ともふみ
講師 丹野 智文さん

認知症本人大使「希望大使」

39歳の時に若年性アルツハイマー型認知症と診断される。現在も仕事を続けながら、認知症当事者の相談窓口「おれんじドア」代表として、認知症の方の笑顔を増やすために全国で講演されています。

2026.1.16(金)

時間 14:00～15:00 (受付13:30～)

対象者 市内在住・市内に勤務している方

参加費 無料 定員 80名

会場 糸島市健康福祉センター
「ふれあい」健診研修室
(糸島市志摩初1丁目3番1号)



駐車場は、「ふれあい」の県道挟んだ西側の糸島市交流プラザ志摩館駐車場の建物に向かって左側のスペースをご利用ください。

申込み方法

右記コードまたは、下記の電話からお申込ください。

締め切り 令和8年1月9日(金)

申込はこちら▶



お問い合わせ

糸島市役所 介護・高齢者支援課 ☎092-332-2070

糸島市認知症カフェ事業助成金を活用した認知症カフェ一覧

糸島市には、「糸島市認知症カフェ事業助成金」を活用した認知症カフェが、現在11か所あります。

(令和7年12月現在)

	カフェ名・電話番号・開催場所	開催日時	参加費	圏域の 地域包括支援センター
1	ケアラズカフェ結(ゆい) 092-321-1378 美咲が丘第1集会所(美咲が丘二丁目9番19号)	第1木曜日、第3金曜日 12:30~16:30	1人 200円 2人 300円	前原西 地域包括支援センター
2	つどいの場 いとしま 090-5285-5162 前原コミュニティセンター(前原東二丁目2-5)	第1・3土曜日 10:00~12:00	200円	
3	ケアラズカフェみとまさん家(ち) 092-322-2801 個人宅(篠原東三丁目14番20号)	第2土曜日、第4月曜日 10:00~15:00	200円	前原 地域包括支援センター
4	しのカフェ よんなっせ in 中央 092-322-2429(社会福祉法人慈愛会) 養護老人ホーム篠原の里 地域交流スペース (篠原西二丁目13番13号)	第2土曜日 14:00~17:00 第3日曜日 10:00~16:00	100円	
5	マイレカフェ 080-3693-3629(平日10時から17時) 有田中央行政区公民館(有田中央一丁目1-63)	第1・3水曜日 13:30~15:30	200円	
6	ながいと地域カフェ みらい 092-323-2032 (長系コミュニティセンターあじさい館) (川付876番地1)参加者対象:長系校区住民	不定日+最終金曜日 9:30~13:30	300円	
7	りぼん 092-324-9688(NPO法人ジネス) 健康福祉センターあごら 栄養指導室 (潤一丁目22番1号)	第2・4日曜日 13:00~16:00	200円	前原東 地域包括支援センター
8	みんなのふくよしカフェ 090-5290-2091 福吉コミュニティセンター(福吉二丁目1番1号)	第1・3水曜日 10:00~15:00	200円	二丈 地域包括支援センター
9	み～んなのオレンジカフェ 090-4510-8237 深江コミュニティセンター 会議室2 (二丈深江一丁目1番20号)	第2・4水曜日 10:00~15:00	200円	
10	おこもりカフェ岐志浜 092-328-2121(社会福祉法人志摩会) 岐志浜公民館(志摩岐志700番地1)	第1・3土曜日 13:20~16:20	100円	志摩 地域包括支援センター
11	たまり場桜野 092-328-8020(志摩地域包括支援センター) 桜井自治会館(志摩桜井2431-1)	第1・3木曜日 13:15~15:15	200円	

☎認知症カフェ見学・参加希望の方、ボランティア希望の方は…事前に、各カフェへお問い合わせください。

☎認知症カフェに関するお問い合わせ・カフェ開設のご相談は…

糸島市介護・高齢者支援課へお尋ねください。認知症地域支援推進員がお持ちしています！

【問い合わせ先】 糸島市役所介護・高齢者支援課 高齢者支援係

電話番号：092-332-2070（直通）FAX：092-321-1139

メールアドレス：kaigokorei@city.itoshima.lg.jp

か

家事を
やってもやっても
形にならず、
疲れるわ

認知症本人

の

声

パネル展

め

メモを残すも
その説明
できない

で

できない！
それをどう言っ
て
いいのか分からない

あ

あそこは楽しい
けれど、
たどり着くのに
2時間かかったわ

な

何も出来ないと
首を下げて回って
ありがとうで
リセット

わ

忘れる事が
はずかしいの

じ

自分が
めっちゃくちやになったら
誰に言えばよい？

で

出来ることは
したいけど
そう思う時期は
そう長くない

す

スケジュール帳が
予定で埋まると
ワクワクするわ(笑)

た

「助けて〜」と
言つと
上手いく

わ

私ばかり、いつも
お礼を言わないといけない
こう思う事がおかしいよね

に

認知症になる事に恐怖があった。
でも、仲間と話して、そうじゃないと思った。

認知症と向き合うことも
大切と思う。

こ

「ことん」ときて、

人の為にやれる力が
なくなっただわ

あ と が き

パネル展に足を運んでいただき、ありがとうございました。

認知症と聞くと、どんなイメージを浮かべますか？「分からない人」「困った人」という印象も少なくないのではないのでしょうか。

令和6年1月、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行され、認知症と共に生きるという新しい考えが生まれてきています。

そんなとき、
糸島に住む『一足先に認知症になった先輩方』のことが思い浮かびました。

忘れることへの「恐怖」、
家族に対する「申し訳なさ」、
自分自身への「不甲斐なさ」、
時に、認知症に負けてたまるものかとの「葛藤」、
同じ認知症の仲間と過ごすひとりの時間への「嬉しさ」
それらを温かく包む「ユーモア」

どんな言葉が印象に残ったでしょうか。
認知症当事者、家族、さまざまな声をとともに…。
認知症について、考え続けていきます。

と

どこかで

ちゃんとしていた
証拠を残したい